

第45回全国豊かな海づくり大会 基本計画書(素案)へのご意見と回答
(R6.12.25 第1回幹事会におけるご意見と回答)

番号	ご意見	回答
1 (P10)	2. 式典行事(2)行動計画 ・稚魚等のお手渡しのお受取者が水産関係者となっていますが、阪南市では、豊かな大阪湾の再生をめざし、これまで子どもたちを主人公としたアマモの保全活動を行っており、こうした環境保全活動を次世代に、未永く引き継ぐ上から、ぜひ、お受取については、阪南市の子どもたちを、入れて頂きたい。	・お受け者は、これから調整しますが、子ども等も可能なように「水産関係者等」に修正しました。
2 (P15)	4. 御放流魚種・お手渡し魚種(2)お手渡し魚種【アマモ】 ・大会時に確保可能か実験中となっていますが、関係者からは、確保可能と聞いています。	・お手渡し魚種のガザミとアマモについては、大会時に水産技術センターで確保が可能であることを確認しましたので、実験中のコメントは削除しました。
3 (P15)	・幹事会等でもご相談しております「ガザミ」を放流できないかという件ですが、「ガザミ」が放流魚種として難しいのであれば、式典行事でお手渡しいただいた「アカガイ・ガザミ」を泉佐野漁協まで移動させ、りんくう公園での放流行事の際に市内の子どもたちが漁協でその「アカガイ・ガザミ」を放流し、その映像を中継するという企画を検討していただきたいです。	・ガザミを放流魚種とすることについては、大阪府の栽培漁業基本計画の検討経過から現在放流の対象外となっていることや、水産技術センターで物理的に種苗の確保数が限られるため困難です。 ・なお、大阪を代表する魚種であることや抱卵ガザミの再放流の取組みが行われているなど、お手渡し魚種に選定することが適当としたものです。 ・放流の中継については、今後、運営上の問題などを含め関係者と検討します。